



# NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会

# 通信

2021年7月1日 第90号

NTT労働組合退職者の会 高知県支部協議会  
会長 國 弘 昭〒780-0841 高知市帯屋町2-5-11  
TEL 088-821-3800 FAX 088-873-3313  
URL <http://nttobkochi.sakura.ne.jp/>  
E-mail [taisyo-kocho@air.ocn.ne.jp](mailto:taisyo-kocho@air.ocn.ne.jp)

## コロナ禍のながWEBで討論

### 中国・四国ブロック会議

五月十三日（木）十三時  
三〇分より、中国・四国ブロック会議がコロナ感染拡大防止の観点から集合開催を断念し、Web方式で実施された。高知県支部協議からは國弘会長と弘田事務局長が参加した。冒頭森嶋会長は、各支部協が、創意工夫した取り組みをしていることに敬意を表します。今後

五月十三日（木）十三時を見通した場合、コロナワクチンの接種状況を踏まえても、向こう一年間は大きく変わらないと思われる。これを前提とした活動を進めていかなければならないが、支部協の常駐体制の充実等、財政措置も含め検討していきたいので、「コロナ禍の中で議論願いたい」との挨拶があった。

続いて、各支部協から①コロナ禍での会と会員のコミュニケーションの状況、②退職者説明会の取組み、③政治課題について報告がされた。引き続き、川辺事務局長から、①支部協常駐体制の充実に向けて、②『石橋みちひろ』の必勝に向けた取組み、③日本退職者連合への加盟について一括提案があり、

## 雨の中2年ぶりのメーデー

連合高知が主催する第九十二回メーデー高知県大会、四月二十九日十時、城西公園に五三二名（十九産別、八団体）が結集した。退職者の会から國弘会長ほか、五名が参加した。この日は、小雨交じりで、会場は、泥田のよう。準備万端長靴をはいた参加者も多い。主催者代表の折田連合高

知会長は、「コロナ禍のなか、暮らしが壊される形で経済的な分断が浮き彫りになっていく」と現状を述べたうえで、「これを超える協調、連携、連帯の重要性を再確認し、分断から連帯へを合言葉に、誰一人取り残さない包摂的な社会をめざしていこう」と語った。また、「日本



の政治の劣化が国民の政治

や行政に対する信頼が決定的に損ない、社会の分断を一層助長した」「命と暮らしを守り抜くためには政治を変えよう。そのためには、第四十九回衆議院選挙では、一区武内則男さん、二区広田一さんと力を合わせて闘っていこう」と呼びかけた。これを受けて、来賓の武内則男・広田一両衆議院議員は、「第四十九回衆議院選挙では、いのちと暮らしを守る政治に変えよう」と

訴えた。集会の最後には「企業規模間、雇用形態間など格差是正に向けて分配構造の転換に取り組むとともに、社会にある偏見や差別、誹謗・中傷に毅然と立ち向かい、多様性を認め合う社会づくりを力強く進めていこう」とするメーデー宣言を満場の拍手で採択し、すべての日程を終えた。なお、今年もコロナ禍を考慮し、デモ行進はなかった。

〈吉川 忠興〉



高知県支部協議会



から金曜日の午後役員の常駐体制を組んでいるので、現状を継続して行きたい」等発言した。（國弘 昭）

## 香南市で「かがみ花フェスタ」

花だより。まずは、チューリップ。3月7日、香南市香我美町岸本の国道55号沿いで恒例の「かがみ花フェスタチューリップまつり」が開かれた。150種13万本のチューリップは壮観。会場は、多くの人でにぎわった。

また、まつりが終わった4月8日、植えられた花の球根が自由に持ち帰れる「掘り取り祭」が開かれた。1袋200円で詰め放題ということで、これまた大勢の人が詰めかけた。





## 特別寄稿

### 平尾学術奨励賞を受賞して

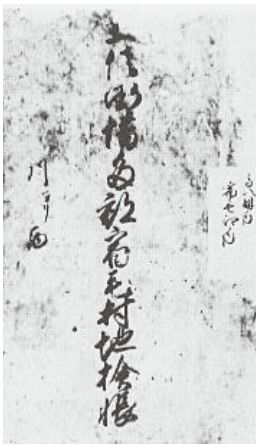
このたび思いがけず、土佐の郷土史研究者に与えられる、平尾学術奨励賞をいただいた。予

土歴史文化研究会の会誌『よど』に連載した拙稿「高知県西南部の中世石造文化財」がその対象となった。

中世石造物に興味をもったきっかけは、その道の先駆者中土佐町の故・林勇作氏から、初対面の際に一枚の拓本を見せられたことである。

それは、私の住む集落の寺院境内に所在する、延徳四（一四九二）年の銘を刻んだ地藏石仏のものであった。

自宅のすぐ近くに古い石仏が



あったことに一驚し、以来幡多地域を中心に中世石造物を探索することとなった。

中世の石造物は、そのほとんどが中世の寺跡に集積されている。現在寺院や小堂として残っているところもあるが、何の変哲もない山際などに、石造物だけが放置されているケースが多い。

その場所を特定するには、豊臣秀吉の頃に作られた「長曾我部地検帳」（県立図書館が刊本として発行している）に、寺院として記されている場所を探す必要がある。そのためには、市町村役場が所蔵する大図（大字図）と突き合わせるのが、最も効率的である。

一方、中世石造物は、仏教思想に基づいて造立されており、ある程度「仏教考古学」的な知識がなければ、理解することが困難である。

また、造立の背景等を推考するには、関連する文献資料を検索することが必須であるが、中世の資料は極めて少なく、最も

苦勞するところである。

今回、望外の賞をいただき、今後とも精進の必要性を痛感している。

（山本 弘光）（宿毛市）

### 西川花公園とともに

私どもが暮らす香南市西川地区は「ホトトギス自由自在に聞

く里は、酒屋へ三里、豆腐屋へ二里」のところにあり、二ヘクタールの棚田に桜二百本、ハナモモ五百本菜の花五十万本咲き今年も三月二十日から四月四日まで西川花祭りを開催しました。インターネットで「西川花公園」で見られます。

多くの方々に花を愛でて頂きピッカピカの新一年生や、結婚式の前撮り、若いカップルやペットを連れてのお客様も多数来園しました。



## 喜怒哀楽

### 第48回 環境破壊がトリガー？

コロナ禍、暗く元気を失う日々が続いています。

喜怒哀楽の投稿にあたり、暗い話題は横に置き少しでも元気になる話題で日常生活に活かされることはと考え、入手した語録を紹介したいと思います。

#### 【18歳と81歳の違い】

- 学校で友達に会うのが18才 病院で友達に会うのが81才
- 道路を暴走するのが18才 道路を逆走するのが81才
- 知らないことが多いのは18才 忘れたことが多いのは81才
- 自動車免許が取れるのは18才 自信がなくなり返納するのが81才
- 流行にすぐ反応するのが18才 御利益にすぐ反応するのが81才
- 遊びすぎて眠れないのが18才 昼寝が過ぎて眠れないのが81才

まだまだありますが、参考にしてお互いの生活に活かして下さい。

今1つ話題は、環境問題について考えてみたいと思います。

世界中を席卷している新型コロナウイルスも環境問題が関与しているのでは、ウイルスの宿主はコウモリとされているが、動物同士の感染であれば影響は限定的だが、人への感染、人から人へと広がり、大変なこととなっています。

人類が世界中での森林破壊や急速な都市型の推進をしたことから、動物の食料が激減し、かつては出会うことのなかった動物と動物さらには、人との接触の機会が増えたことに起因しているのではないのでしょうか。

生態系の修復が問われること、また人間社会においても富裕層と貧困層の格差も広がり、分断と自国優先の動きの中、安全衛生面の対応が先送りとされていることも問題に感じてなりません。

現職を中心として、砂漠の緑化運動（黄砂問題など）、全国一斉環境行動（カン・ゴミのポイ捨て清掃）、エコの取組みなどを退職者の会も参加して実施しています。

私達ひとり一人も心がけ日常的な取り組みとしたいものです。

色んな事に興味をもち、お互いに気力・知力・体力を呼び戻して、自らの脳トレに即してはいかがでしょうか。

暗い話題を避けて寄稿をしましたが、新型コロナウイルスが治まり、日常が戻ることを心から祈願して、寄稿とします。

＜三宮 正博＞



今は（五月）菜の花の刈り取り、

種取り、跡地を耕し、施肥、草取りを行っています。

コロナ禍で気力、体力も沈みがちで巣ごもり状態の日常に生氣を感じさせてくれる花に心機一転コロナ禍に負けてはいられない気持ちです。



て、お客さんのプシュ・プシュと缶ビールの音が花の下で聞こえることを夢見ています。

（黒岩 靖夫）（香南市）







## 子離れはパッチワーク

大石 純子

(高知市)

コロナ終束を願う今日この頃です。友人と会食することも無く、家の中へ招くことも出来ない中、私は趣味に没頭する日々です。

それは娘の結婚を機に、子離れをしなくては始めたパッチワークです。カルチャー教室へ通うようになり、二十五年が経ちました。最初は色合わせが全くできず、先生の真似をした

り、本をお手本にしたりして、とにかく数多く手掛け

て、とにかく数多く手掛けました。そうしているうちに少しずつ自分のカラーらしきも

## 会員投稿欄

## 所感・雑感



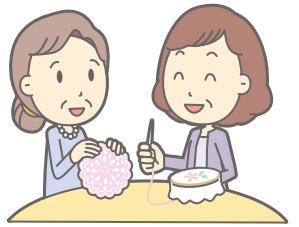
## あふれるカタカナ語

青木 敬三

(南国市)

のができてきて、次第に面白さを増してきました。今は家で楽しんでいきます。毎日針を持って、チクチクしないとその日が終わら

この先いつ迄自粛が続くかわかりませんが、自分のペースで好きなことをしながら、自分で作った無農薬野菜を食し、元気に年を重ねていきたいものです。



ビデンス」です。「GOTOトラベルで感染が拡大したというエビデンスはありま

せん」と、旅行が続いている間に全国に感染が拡大しました。「エビデンス」とは「根拠」という意味ですが、美術館など感染が拡大したエビデンスは無くても休業要請をし、一貫性がなく「どんなエビやねん」と思ってしまう。「エッセンシャルワーカー」や「インフルエンサー」という言葉も耳にしました。

## OB旅行が中止に

退職者の会と電友会で構成する「旅行検討委員会」は、今年度の「NTTOB旅行」検討をすすめてきました。

しかし、現在の段階では、コロナウイルスが猛威を振るい、国が緊急事態宣言や蔓延防止策等、感染拡大防止対策を実施しているものの、変異ウイルスが急速拡大し、国民にさらなる自粛が求められています。交通網や旅館もその対象となっていることや、高齢者の感染による重症化の恐れなどを総合的に勘案した結果、昨年に続き今年も、中止することになりました。

会員・ご家族の皆様、諸般の事情をご理解され、次回には、引き続きの参加・協力を頂きますようお願いいたします。

NTT退職者の会 旅行委員会

誌面で伝える  
あんなコト、  
こんなコト...

## 元気をモットーに

気がつけば今年も早、半分が終わろうとしている。バタバタする毎日、あっという間に時間が過ぎているではないか。先日、1回目のコロナワクチン接種を受けるため「かかりつけの某病院」に行った際「掲示板」のユニークなジョークが目についた。もう古いかなと思いつつ2項目を紹介してみよう！「笑いは長寿の秘訣より」「18歳と81歳の違い」1. 恋に溺れるのが18歳、風呂で溺れるのが81歳。2. アクセルを踏みつづけるのが好きな18歳、アクセルをブレーキだと思ひ違いする81歳。2つともあってはならない事象であるが、この場合は笑いで留めておこう！「老いも若きも健康が第一」私もこれから年を重ねるにつれ、色々な出来事にでくわすかも？家族に迷惑をかけない平穏な日々を送れるように、常に健康に留意し、元気をモットーに過ごしていきたいと願うばかりである。

&lt;いの町 掛水 秋男&gt;

## 不要不急って何？

1918年からのスペイン風邪は、アメリカから世界へ広がり約5億人が感染、死者は1,700万人から5,000万人となり、悪疫と飢餓の時代と言われる。「物不足」から豊かな生活に慣れ、どこへ行くにも自由に過ごしてきた私達は、遠い昔の話と違ってに違いない。

京大の佐伯教授は、「不要不急の都市型生活より、必要火急なもの不足していた。医療や介護、教育、困窮事態に助け合える繋がりなど地方型へと適合しなければ」と、高知の論文に載せられている。

幸いリタイアの身で自粛と言われる前から隠居生活。今ある「物」と「時間」に感謝し、花のお江戸行の再開を待つこの頃なり。

&lt;高知市 斎藤 芙美&gt;

## 気候変動が心配だ

1月に県内を襲った寒波の影響を受けた香我美町の山北ミカンのニュースを新聞で知った。我が家でも半世紀栽培の枇杷も5年ぶりに大寒波被害を受けた。また家から近くのユルキャラ日本一にもなった【しんじょうくん】の新莊川の河口で冬期に取れるスジアオノリで名物【新莊川青海苔】も今年は収穫出来なかった。枇杷寒波、青海苔不作も原因はさだかでないが地球環境による汚染や気候変動が少なからず様々な影響を与えていると思われるが、来年はこの様な事が無いように祈っている。

&lt;須崎市 吉村 二郎&gt;